



追悼

3月29日、長年交流協会を支えてきた服部文男会長が急逝された。あまりに突然のことで衝撃で言葉も出なかった。

服部会長は交流協会に入会して30年以上、2020年からは会長として努めて来られた。バス旅行などの計画を立てては自ら車で現地を下見、副会長時代には内堀専務（当時）と二人三脚で活動を支えた。交流団にも団長として参加し、役員たちにも様々な活動に積極的に顔を出すように鼓舞するなど、実践的な会長だった。そして、昨年にはロシア大使館での交流協会60周年記念パーティーを実現させた。

協会の全体を把握して事務所を支えていた奥園さんによると、「お昼においでになるときは、必ずご馳走してくれたり事務所を居心地の良い場所にしようと気を遣ってくれたり、なんでも「まめ」で、人に頼むより自分で手配して動いた方でした。本当に頼りになる方を失ってしまいました。」

誰にでも気さくに耳を傾け、政治、外交などに左右されことなく草の根の民間交流を大切にという、協会の姿を真に理解し心を砕いていた方だった。それ故、訃報に接し、各地から追悼の辞が寄せられたのも頷ける。国内では、ロシア文化フェスティバル、日本・ロシア協会、対外文化協会、在日ロシア大使館、キルギス大使館。海外からは露日協会（モスクワ）、ウラル露日協会（エカテリンブルグ）、露日協会ペテルブルグ支部、露日協会アルタイ支部、タタル日本文化情報センター（カザン市）、友好クラブ「兼六園」（イルクーツク）、東方文化情報センター「ラクーダ」（チェリャビンスク）、露日協会ワニノ支部、友好協会「スズラン」（ハバロフスク）、露日協会ドゥブナ地域支部、露日協会サラトフ支部から届いている。以下、露日協会より、「日ロ交流協会会長服部文男氏の逝去を深く悲しみ、会員および役員を代表して、服部氏のご家族、ご親族、同僚の皆様にご心よりお悔やみを申し上げます。

私たちは皆、服部氏がその活動を通じ、私たちの協会と二国間の友情発展に多大な貢献をされたこと、そして世界が困難な時期を迎えている現状にあってもその活動に生涯を捧げられたことに對し、無限の感謝の意を表します。服部氏が友情のために積極的に関与された最も顕著な例は、長年にわたり日本とロシアの民衆を結びつけてきた文化・人道交流の発展です。私たちは、服部氏の事業が彼の後継者の中で生き続けると確信しており、「草の根」や「心から心へ」の外交が、両国の市民団体や熱心な活動家、服部氏を含む多くの人々の長年にわたる献身的な努力によって可能となった貴重な成果を守り、取り戻すのに役立つと信じています。

再度、私たちの喪失の悲しみを表明し、服部文男様のご家族や親しい方々、そして交流協会のすべての会員に慰めの言葉をお伝えさせてください。私たちは、国際的な対話の強化や文化・人道的交流の発展に彼が果たした計り知れない貢献を深く評価しています。服部文男様の明るい記憶は、彼を知り、ともに仕事をする榮譽にあずかった者の心に永遠に残るでしょう。共に哀悼の意を表します。敬意と哀悼の意を込めて。

露日協会 会長 Г. Б. Довтук

露日協会中央委員会 委員長 М. А. Кирченко

露日協会書記長 Е. Н. Курчина

中央理事会メンバー、ウェブサイト管理者 О. И. Казюков

今年、私たちは大きな悲しみの連鎖を乗り越えなければならぬ。3月21日夜、病氣療養中だった山岸ひさ子様が亡くなられた。山岸様は交流協会では50年近く活動され、常任理事として30年にわたって古流（松藤会）生け花をロシア大使館及び通商代表部で教えて来られた。4年前に亡くなられた坂本斐子様と共に、毎月3回、花束を抱えて通い、古流の展示会にも毎年、大勢招待してお家元と案内されていた姿を思い出す。

チョウザメの養殖を手掛けていた会社の社長秘書として若い時から働いていた山岸様は、常に物静かで口数が少ないが、肝心なときにはすぐに動いてくれた心強い味方だった。凛として、いつも品の良いおしやれをしていて、他の文化活動にも可能な限り出て必要な手助けを買って出てくれた。

真にボランティア精神をもって、交流協会を愛して活動してきた人を続けて失ってしまった。一つの時代が終わったような大きな喪失感が拭えない。元在日ロシア大使夫人を含め、ロシアから大勢のお弟子さんたちからの弔意文が届いている。

「ロシア連邦から多くの教え子一同は、わが国の永年の友人であり、日ロ交流協会の最年長会員であられた山岸ひさ子様のご逝去の報に接し、深い悲しみに包まれております。

山岸様は素晴らしいお人柄と高い専門性を兼ね備えた教育者でいらっしやいました。そのお人柄、才能、そして美に対する深い感性は多くの教え子の心に深く刻まれております。山岸様は30年以上にわたり、大使館及び通商代表部職員のための生け花教室をご指導くださいました。この芸術の奥深さを教えてくださるとともに、異文化交流の発展に多大なるご貢献をされました。そのあたたかなお心、尽きることのないエネルギー、そして、前向きな姿勢により私たちの学びの時間は常に実り多く、有意義で心温まるものでした。ここに謹んで山岸様のご家族、ご親族並びにご友人の皆様にご心より深い哀悼の意を表します。」

山岸様の葬儀の日には満開の桜が見送っていた。

合掌。

（千葉麻里）